
盟和産業株式会社

2019年3月期 決算説明会

2019年5月30日



目次

- I 決算レビュー
- II 通期見通し
- III 新中期経営計画

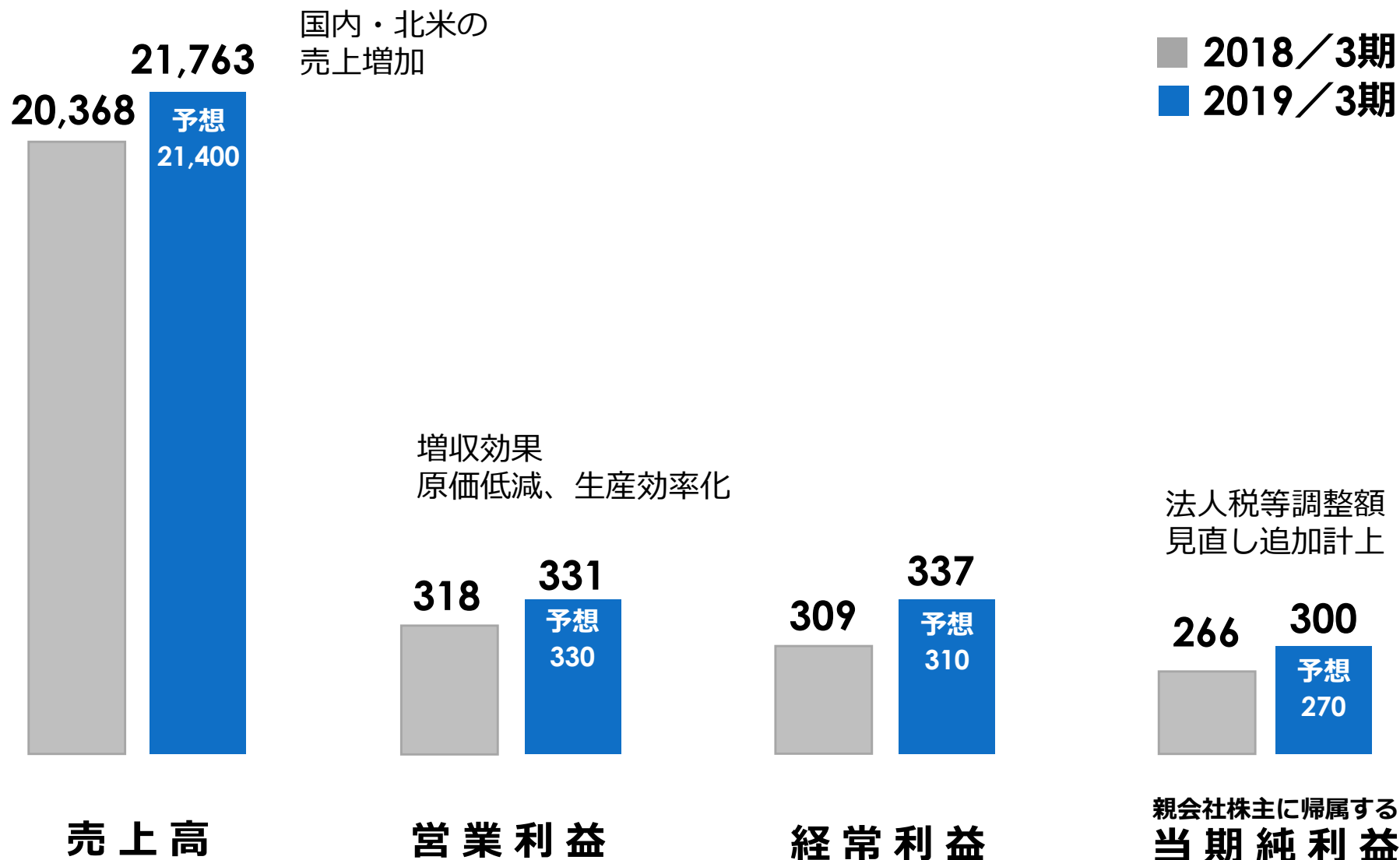
I 決算レビュー

決算の主なポイント

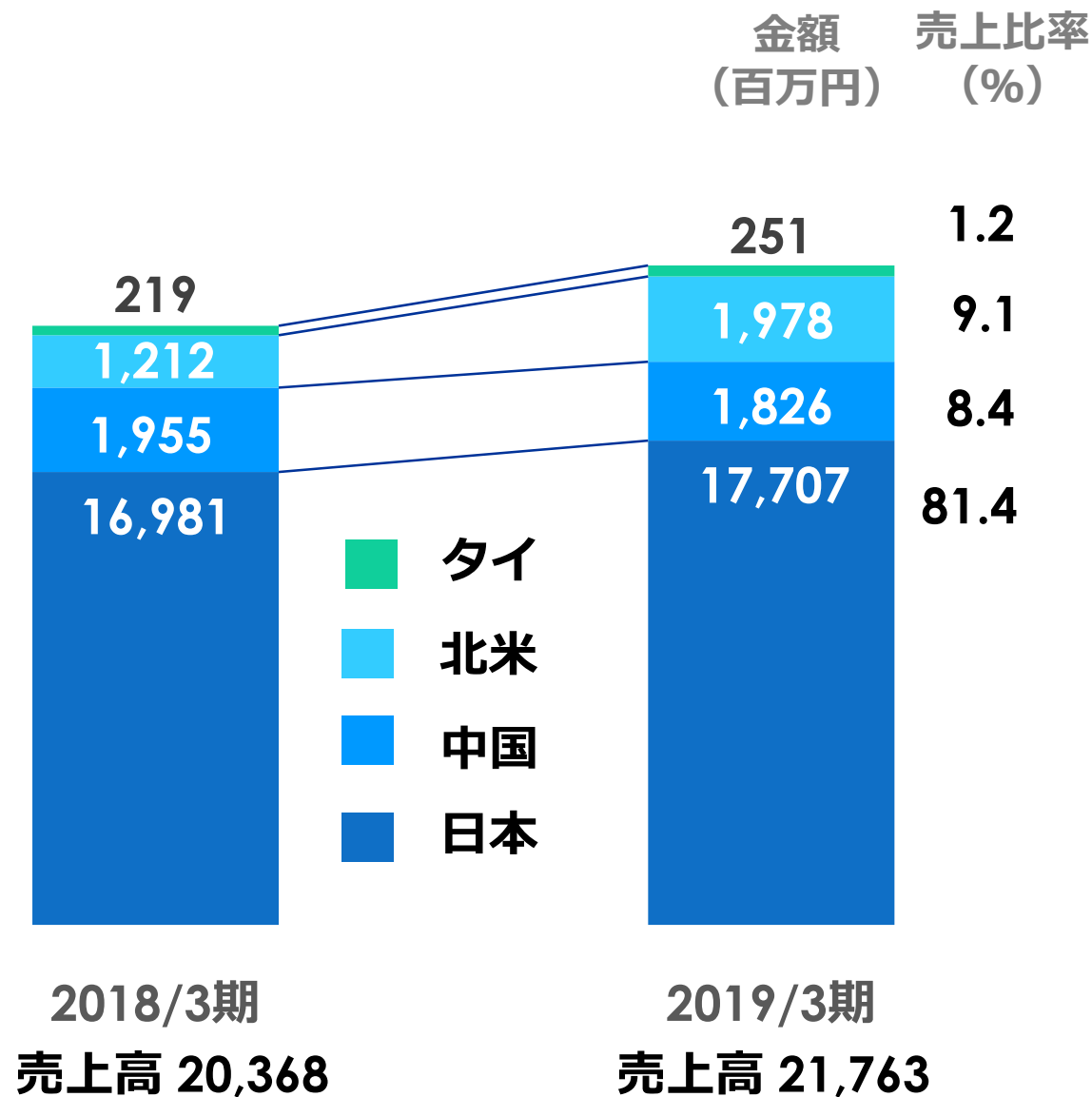
- 1 増収増益、全ての段階で業績予想を上回る**
- 2 国内・北米増収、北米の売上高は連結全体の約1割まで増加**
- 3 国内は上期の自然災害の影響を下期で挽回**

連結業績の概要

(百万円)



地域別売上高



**北米の売上高は前期の
1.6倍、中国の売上規模
を上回る**

**海外売上比率 18.6%
前期比 2ポイント増加**

セグメント別業績の主なポイント



(百万円)

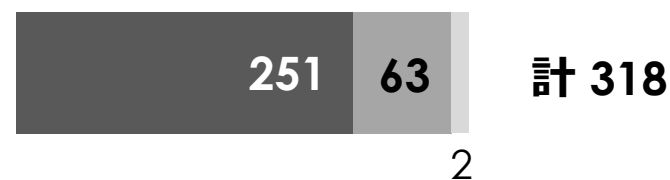
2018/3期
売上高



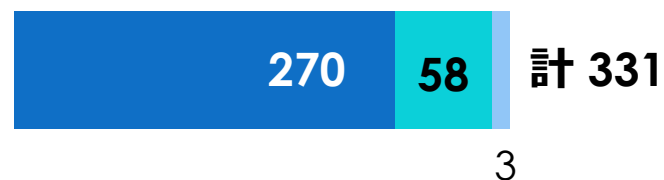
2019/3期
売上高



2018/3期
セグメント利益



2019/3期
セグメント利益

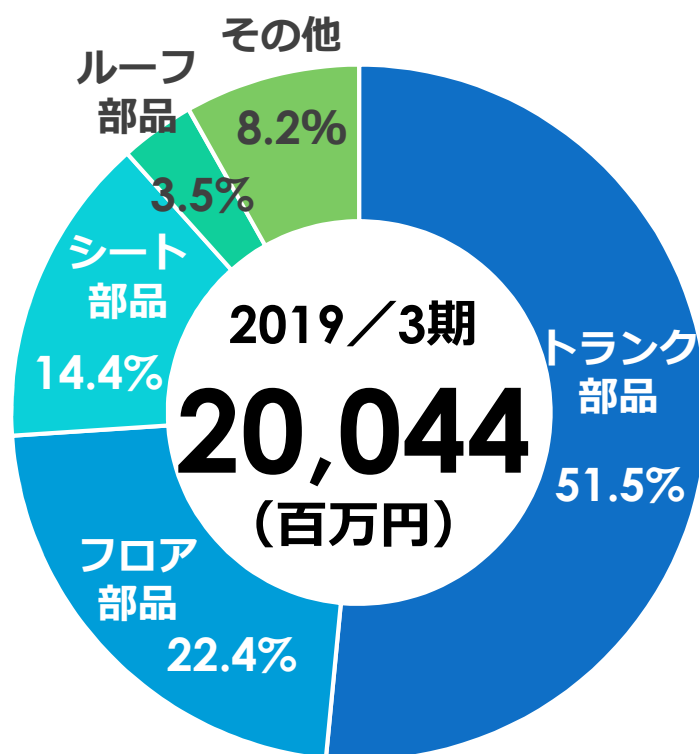


2018/3期
■ 自動車部品 ■ 住宅 ■ その他
2019/3期
■ 自動車部品 ■ 住宅 ■ その他

自動車部品の部位別売上高

売上構成はトランク部品が約 2 分の 1

自動車部品売上高

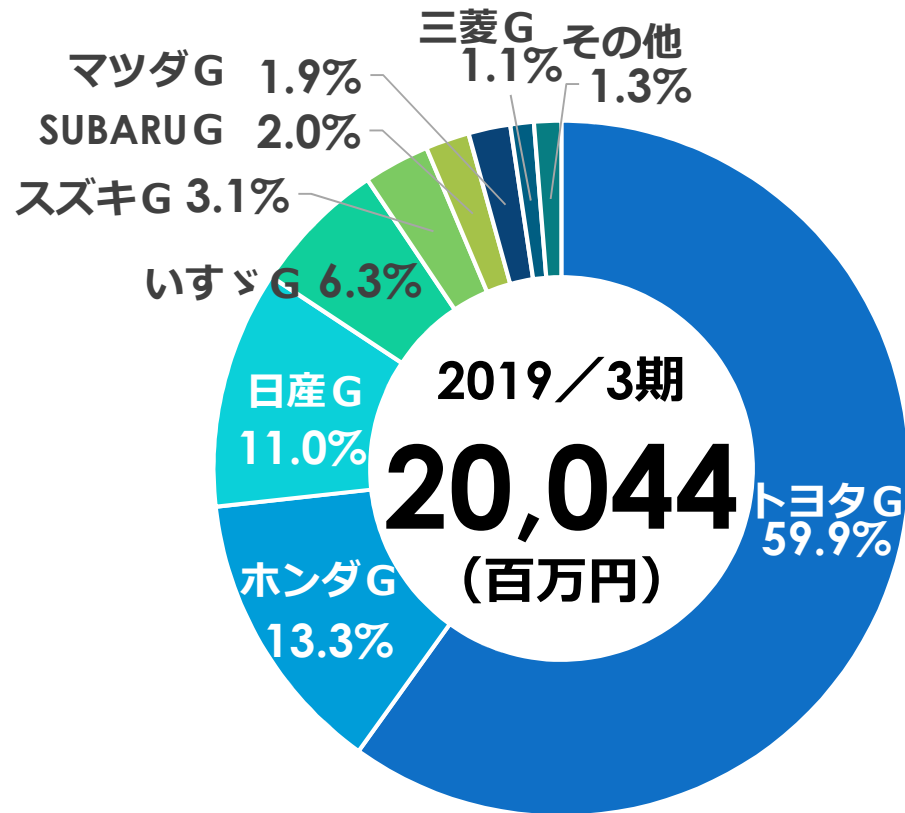


	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トランク部品	10,328	51.5
■ フロア部品	4,491	22.4
■ シート部品	2,893	14.4
■ ルーフ部品	696	3.5
■ その他	1,634	8.2

自動車部品のメーカー別売上高

トヨタグループ向けが約 6 割

自動車部品売上高

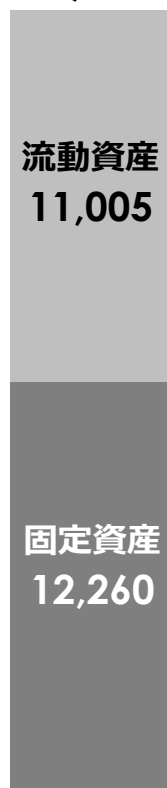


	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トヨタG	12,008	59.9
■ ホンダG	2,672	13.3
■ 日産G	2,214	11.0
■ いすゞG	1,261	6.3
■ スズキG	616	3.1
■ SUBARU G	407	2.0
■ マツダG	390	1.9
■ 三菱G	218	1.1
■ その他	255	1.3

バランスシートのポイント

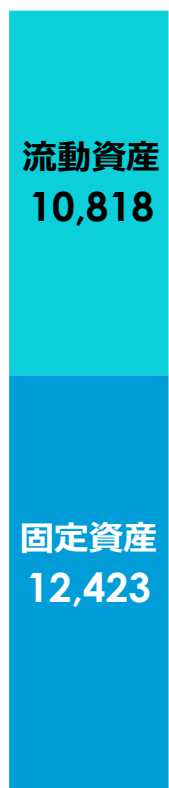
(百万円)

資産合計
23,266



2018/3月末

資産合計
23,242



2019/3月末

流動資産 Δ 187

現金及び預金 Δ 892
売上債権等増加

固定資産 + 163

有形固定資産 + 168
北米、タイ設備投資等

負債純資産合計
23,266



2018/3月末

負債純資産合計
23,242



2019/3月末

流動負債 Δ 407

1年以内
長期借入金 Δ 637

固定負債 + 707

長期借入金 + 217

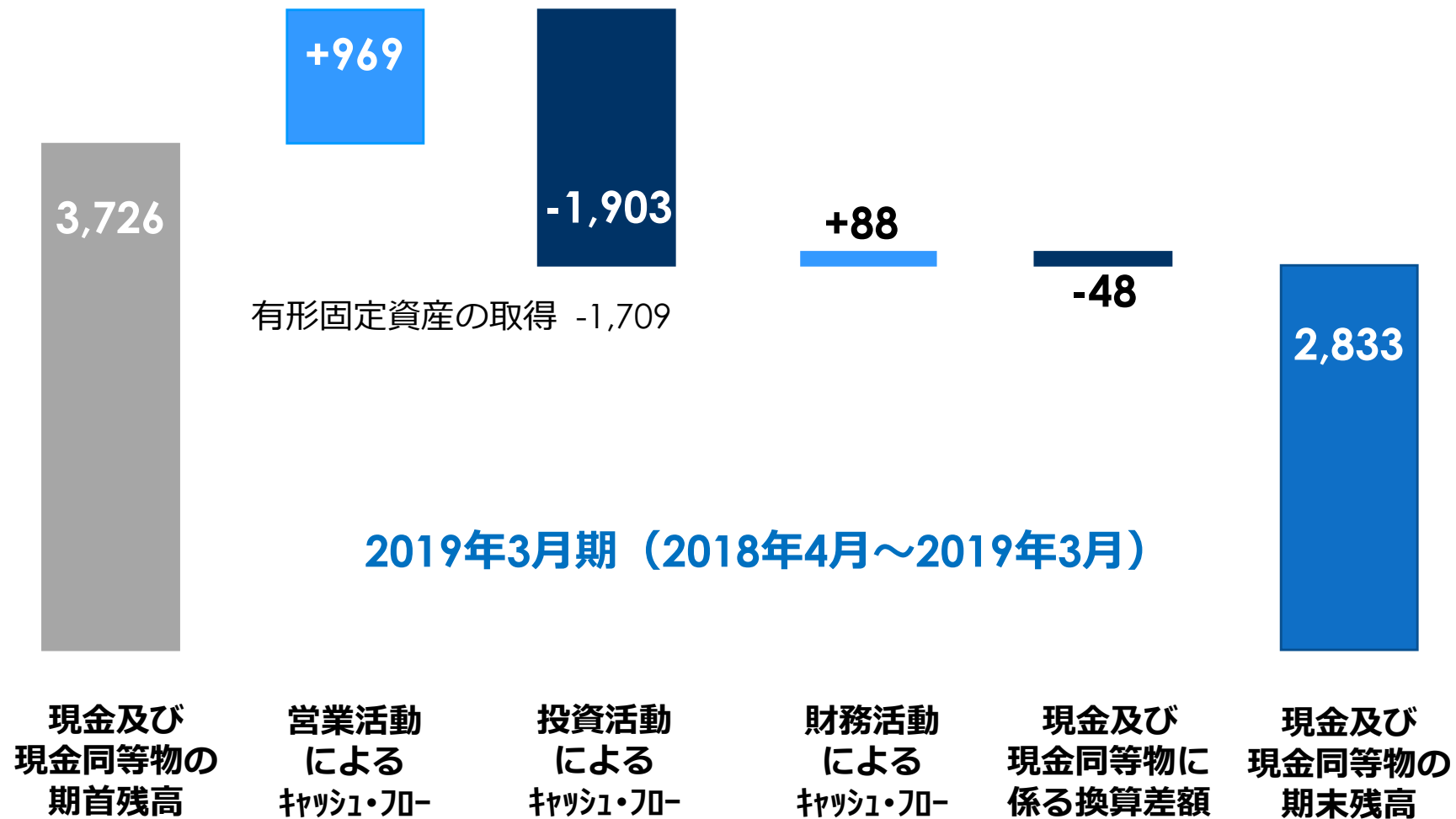
純資産 Δ 323

為替換算調整勘定 Δ 260

キャッシュフロー計算書のポイント

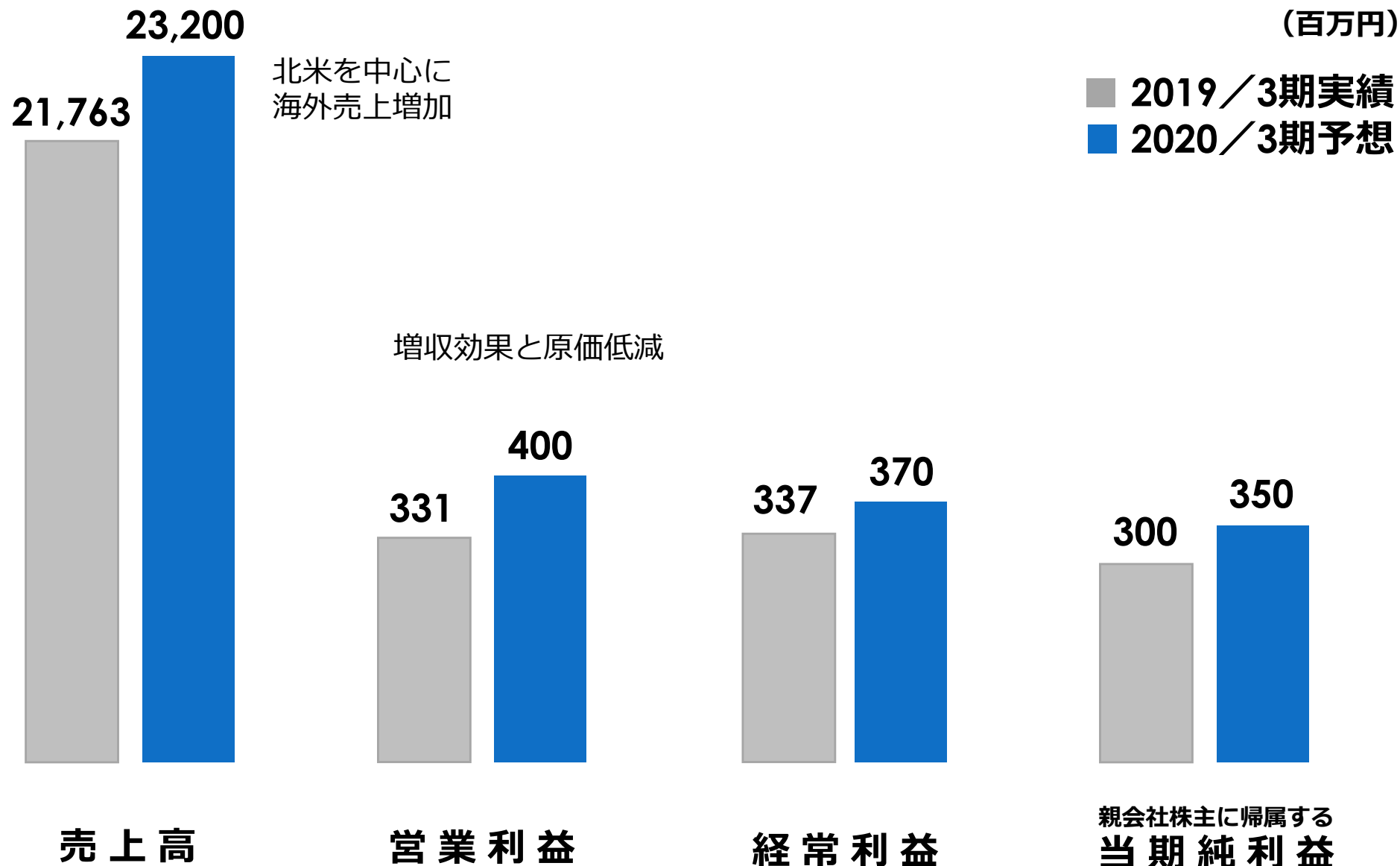
税金等調整前当期純利益 +372
減価償却費 +1,238

(百万円)



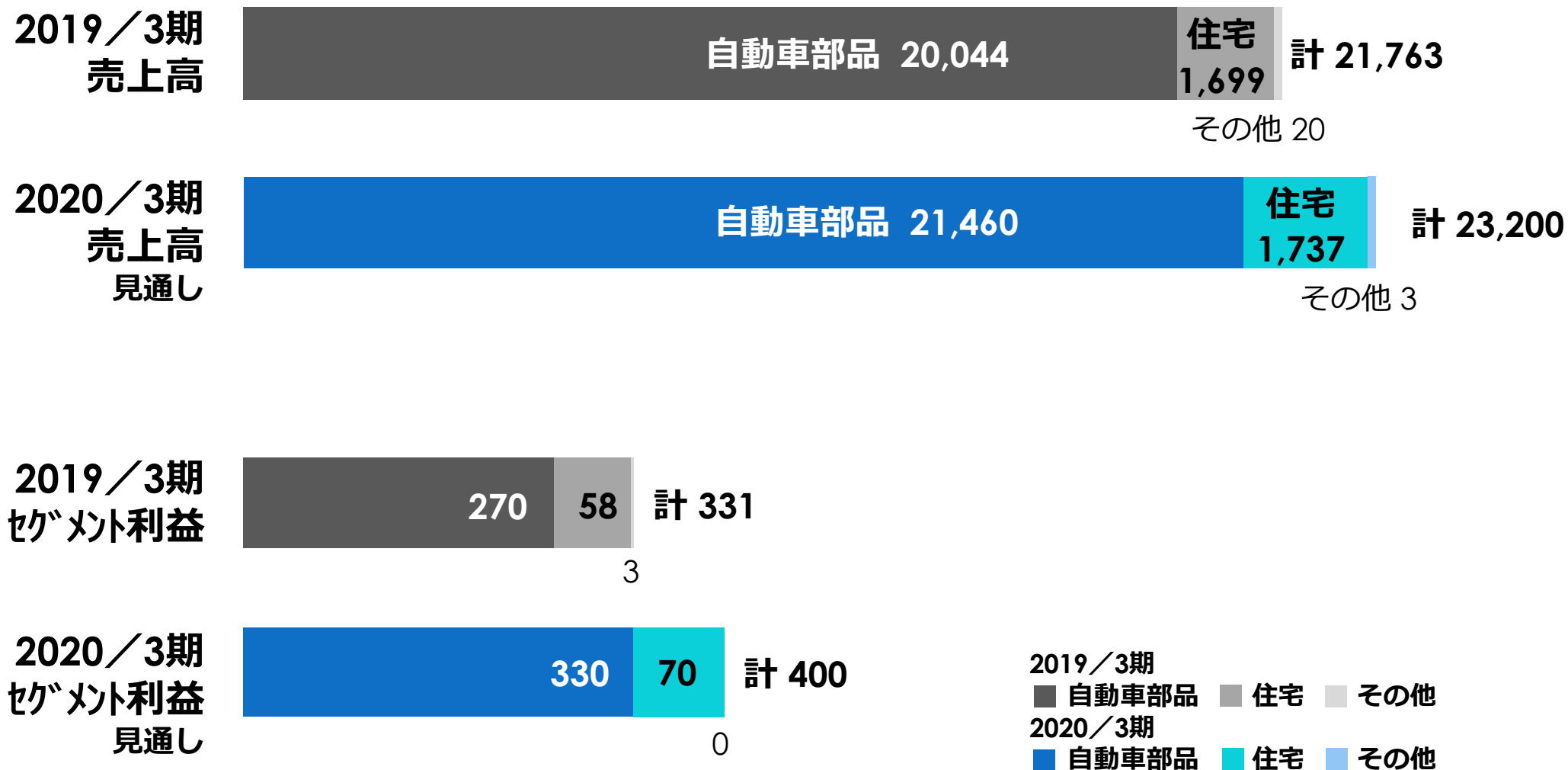
Ⅱ 通期見通し

通期業績見通し



セグメント別業績見通し

(百万円)

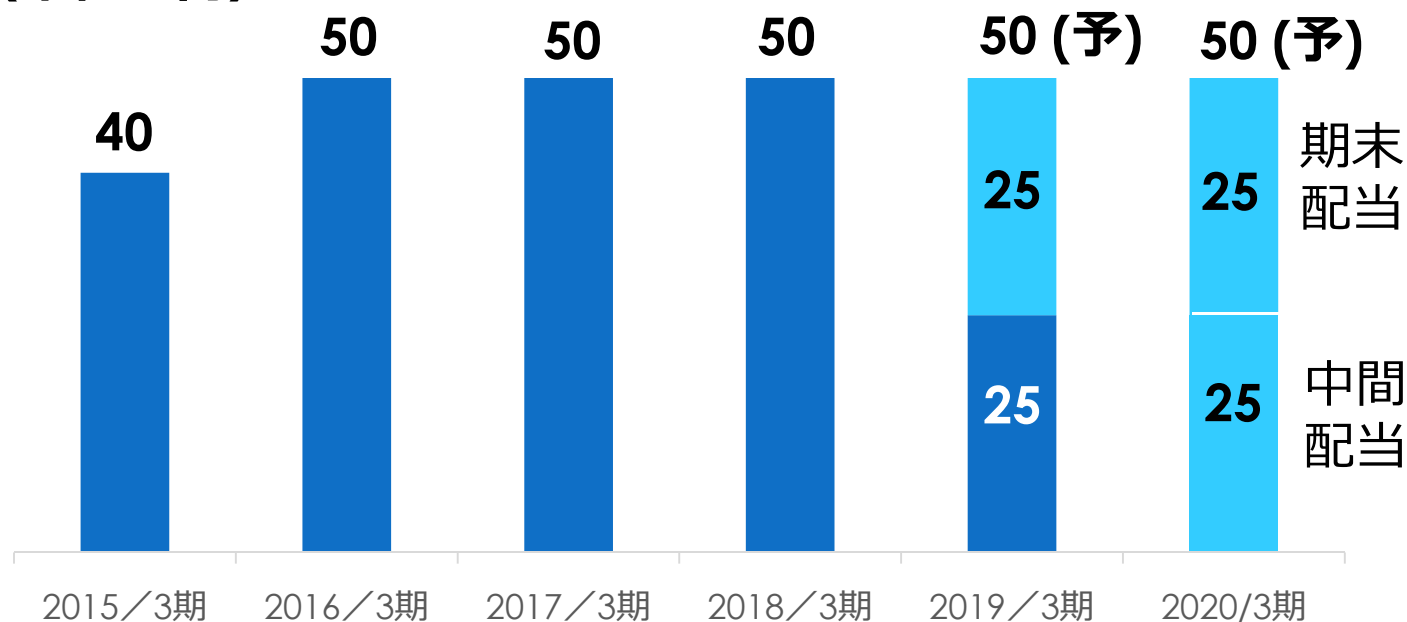


利益配分に関する基本方針

企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定

一株当たり配当金の推移

(単位：円)



※ 当社は2014年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施し、2015年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております

左記の一株当たり配当金は、当該株式分割及び株式併合を考慮して便宜的に表示しております

Ⅲ 新中期経営計画

1

**前中期経営計画：GT300
2014年4月から2019年3月（5年間）**

2

**日本・中国・ASEAN・北米の
グローバル四極で部品供給体制を確立**

3

数値目標

- 売上高300億円（自動車部品270億円 住宅30億円）
- 自動車部品の国内：海外の売上比率 2：1
- 営業利益率5% ROE8%

前中期経営計画GT300 振り返り

重点課題の状況

グローバル四極体制を
確立、自動車部品の国内：
海外の売上比率を
2：1にする

海外拠点の
事業化に
時間を要し
国内：海外
の売上比率
4：1

国内自動車市場が縮小
する中、自動車部品の
国内売上高180億円
を確保する

自動車部品の
国内売上
は既存分野
で160億
円確保

新製品・新技術の早期
開発と新用途開発でお
客様の期待を上回る価
値を提供する

改良技術とし
て端末加工法
マット新製品
等開発

変動費・固定費を徹底
的に引き下げ、国内自
動車部品は減産下でも
利益の出せる体制を構
築する

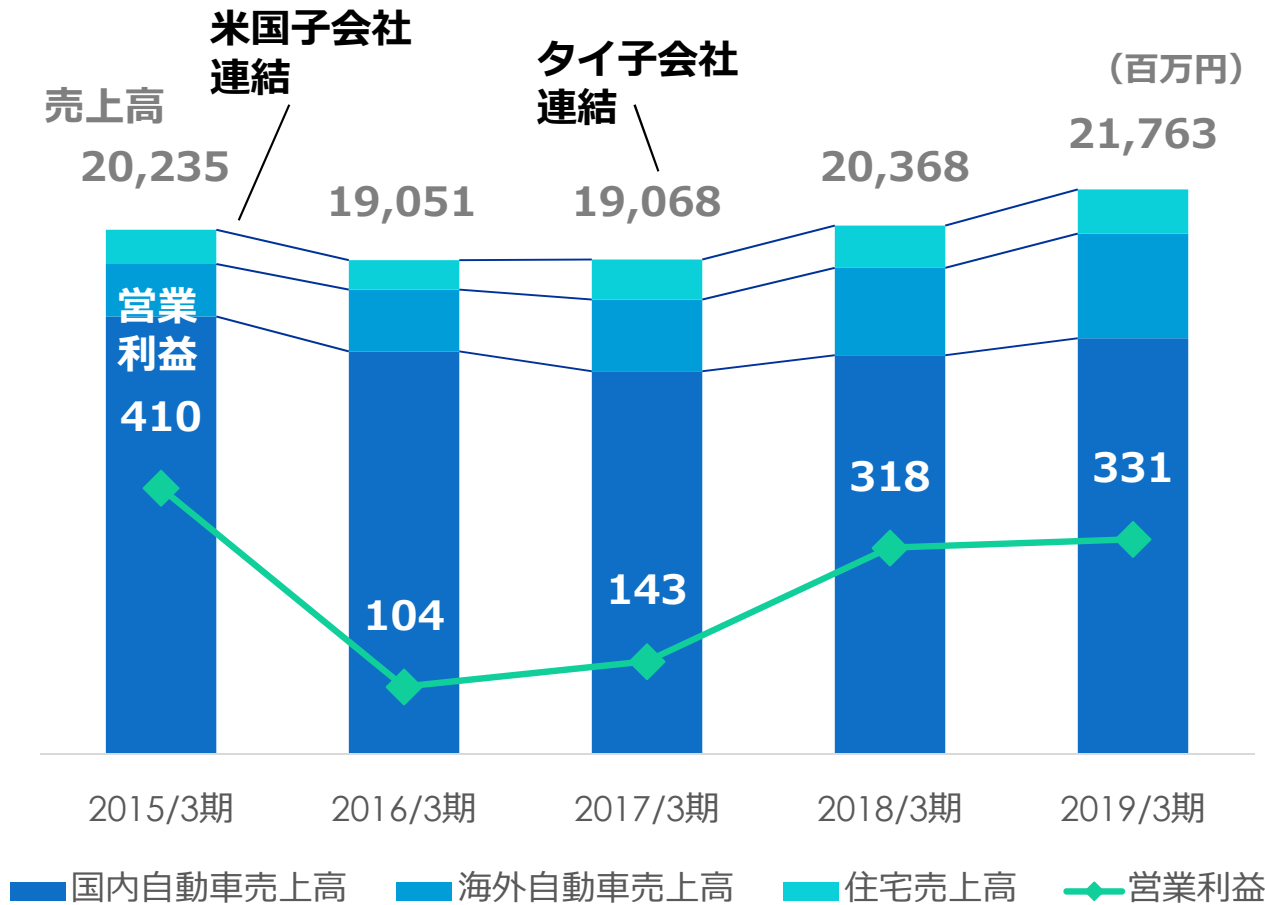
間接部門のス
リム化等国内
固定費約1割
削減

住宅事業は積極的に開
発案件を取込むととも
に樹脂の積層技術を応
用した新ビジネス開拓
を進める

住設資材の
開発案件取込
受注安定
新規開拓が
課題

前中期経営計画GT300

業績推移



➤ グローバル成長に向け
海外投資先行
新設の米国子会社と
タイ子会社を順次連結
子会社化

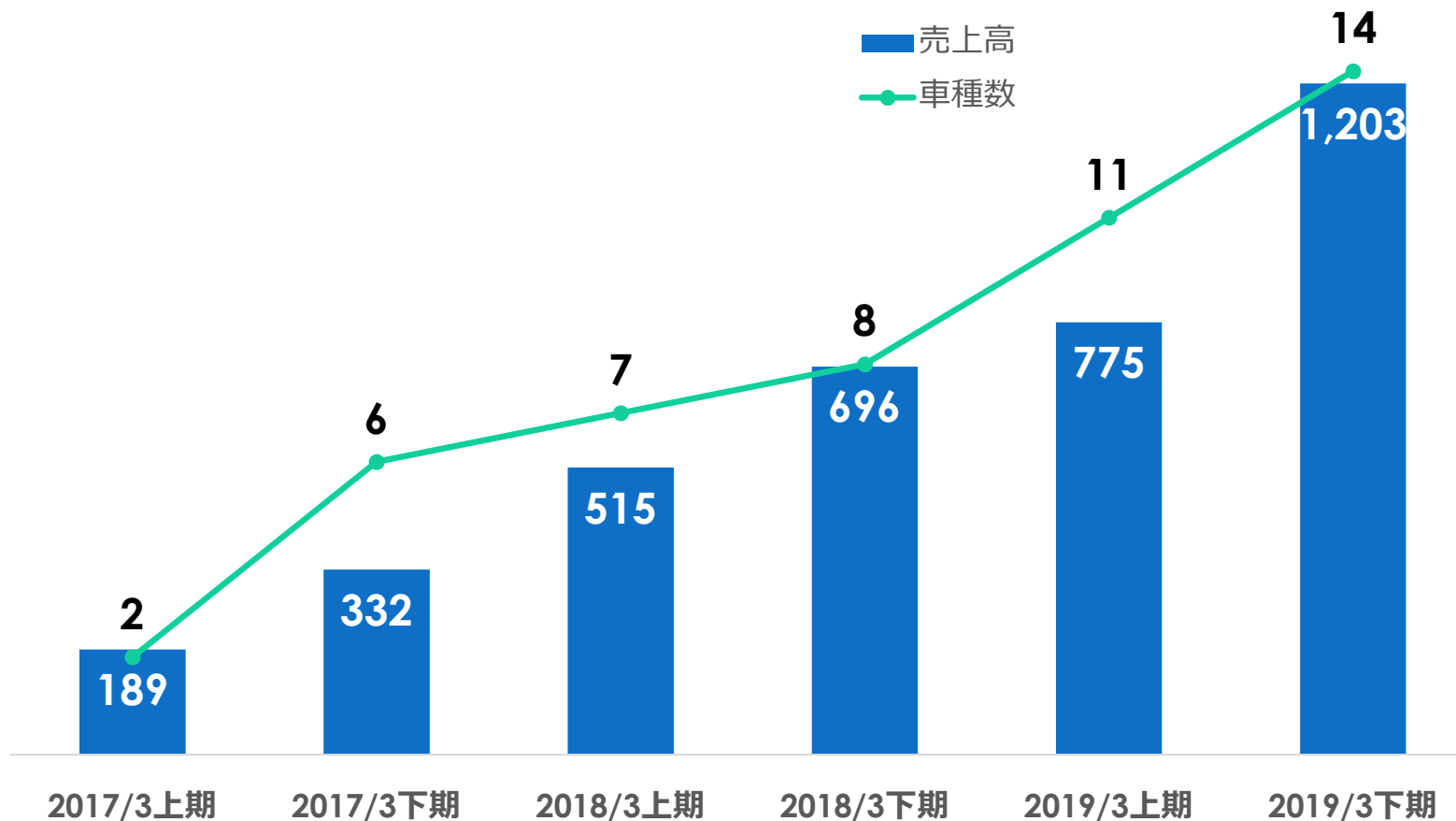
➤ 国内は計画前半で
軽自動車増税、地震等
による自動車減産
原油価格下落等あり
後半で回復傾向

営業利益率 1.5%
ROE 2.7%

米国子会社の売上高と車種数の推移

米国子会社の半期毎売上高と量産車種数の推移

金額
(百万円)



量産車種増加し
売上順調に増加

前中期経営計画GT300 海外展開

2016年中国統括部設置（中国一体運営）
2018年武漢連絡事務所開設

盟和（大連）汽車配件有限公司

盟和産業株式会社

盟和（佛山）汽車配件有限公司

MEIWA INDUSTRY
(THAILAND) CO., LTD.

2014年タイ子会社現地生産開始

2014年米国子会社開業
2015年ミシガン営業所開設

MEIWA INDUSTRY
NORTH AMERICA, INC.

MEIWA INDUSTRIA
MÉXICO, S.A. DE C.V.

2016年メキシコ子会社設立

新中期経営計画の位置づけ

中期経営計画
2008.4～2011.3
(3年間)

中期経営計画
2011.4～2014.3
(3年間)

前・中期経営計画
GT300
2014.4～2019.3
(5年間)

新中期経営計画
RD365
2019.4～2022.3
(3年間)
持続的な成長を目指し中期計画の先
(5～6年後)を見据えた3年計画

自動車産業の大変革期を迎え
先の姿は見通しにくい状況



量産/受注リードタイムから
計画期間を3年に設定

長期ビジョン2020
グローバル市場で存在感のある
内装部品サプライヤーを目指す

中期経営計画RD365 概要

- グローバル各拠点を収益化
- 内外連携を強化して市場開拓
- 持続的な成長に向けて新技術開発を加速する
- 3年後、当期純利益6億円
ROE 5%以上を目指す

中期経営計画

RD365

Revitalize and
Development

2022年3月期迄
3年間

親会社株主に帰属する
当期純利益
6億円

ROE
5%以上

収益力強化

- グローバル化の成果を国内外で利益として実現する

市場開拓

- 自動車部品事業（海外・国内）住宅事業とともに市場を広げ受注を拡大する

新技術開発

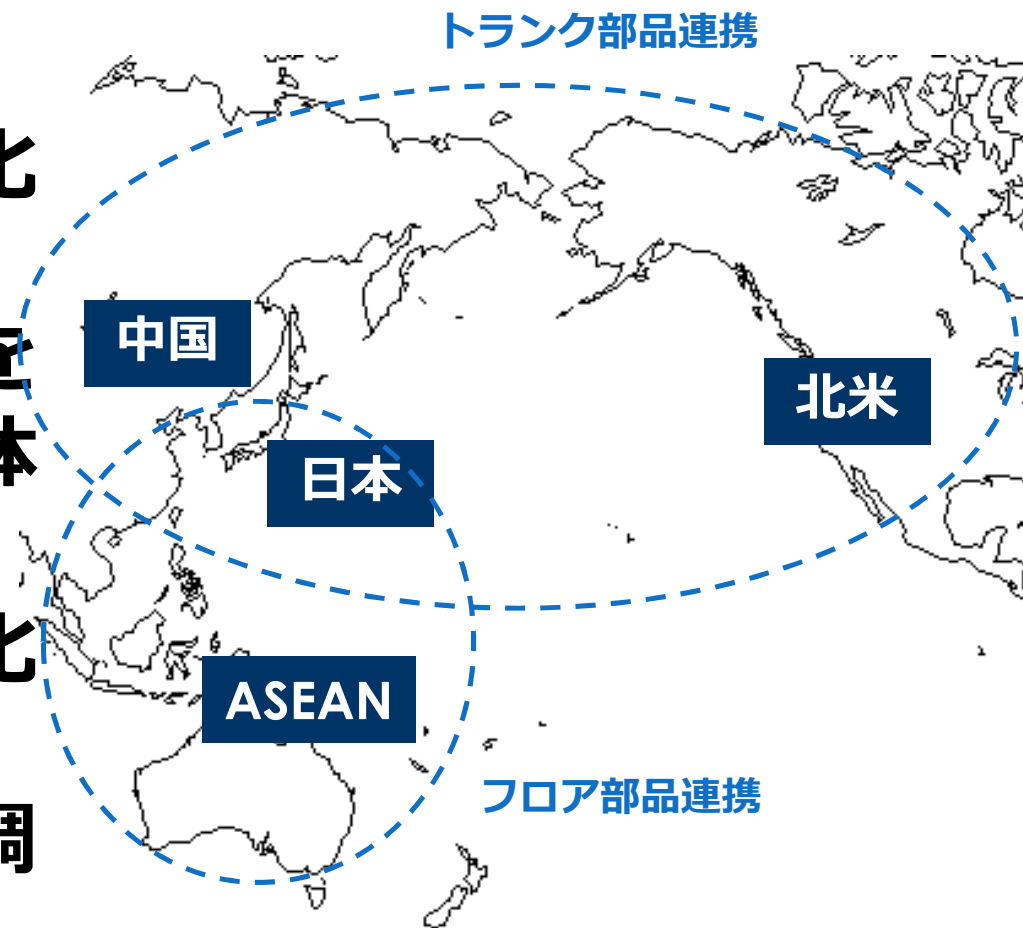
- 次の主力製品になり得る新製品新用途の開発を実現する

人材開発・環境保護

- 事業を担う人材の力を強化するとともに、地球環境の保護を通して持続的な発展を目指す

収益力強化

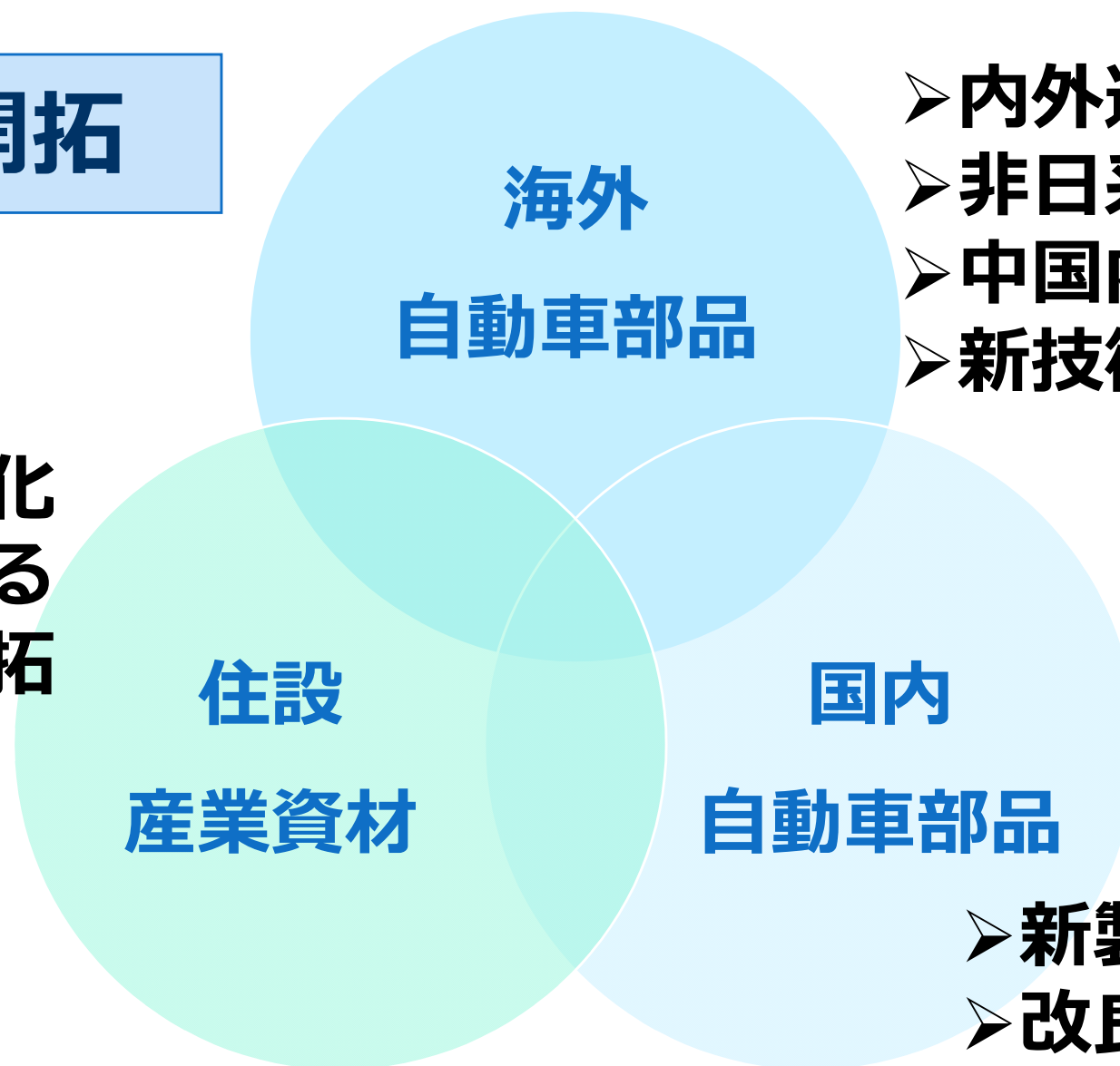
- グローバル各拠点の収益化
- 内外生産拠点で役割分担を進め効率的で最適な生産体制を構築
- 工程改善・自動化の積極化
- グローバル視点での資材調達最適化



中期経営計画RD365 重点課題

市場開拓

- 住設分野深化
- 次の柱となる
ビジネス開拓

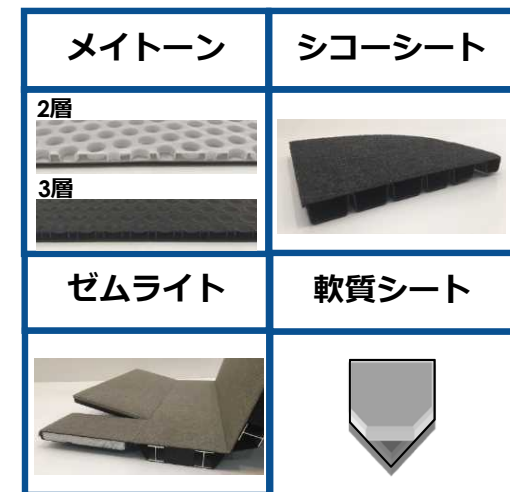


- 内外連携強化
- 非日系顧客開拓
- 中国内陸部開拓
- 新技術提案

- 新製品提案
- 改良技術提案

新技術開発

- 当社の特長である樹脂の配合・加工・積層技術を活かし、トランク部品、フロア部品以外の新製品新用途の開発を3年間で完了させる
- 既存の組織から独立した新製品開発の専任部署を設置する
- 既存製品（主力製品群）の改良技術開発により競争力を高める



(主力製品群)

人材開発・環境保護

人材開発

- グローバル人材の育成
- ダイバーシティ推進
- 教育研修の拡充

環境保護

- 産業廃棄物の排出量削減
- リサイクル化の推進
- エネルギー使用量の削減

設備投資

15 億円/年度

- 海外生産能力増強
メイトーン機 2機増設
- 生産効率化・省力化投資
- 減価償却費14億円/年度

研究開発費

5 億円/年度

- 新製品・新用途開発
- 既存製品の改良技術開発

※ 費用には開発に係る人件費を含む

中期経営計画RD365 数値目標

売上高
217億円

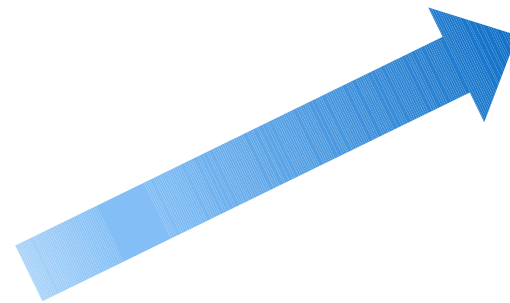


親会社株主に帰属する
当期純利益
3億円

ROE
2.7%

2019/3期

RD365



売上高
250億円



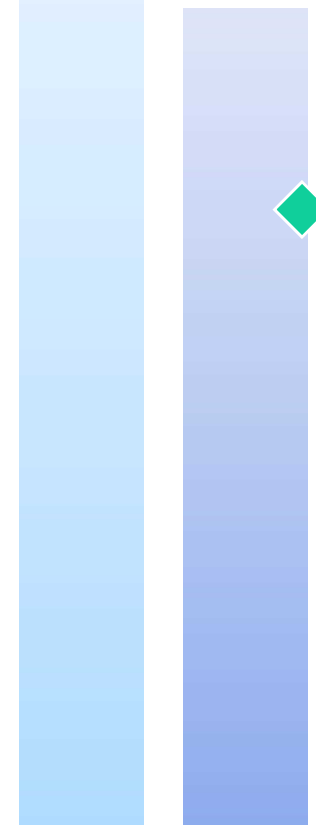
親会社株主に帰属する
当期純利益
6億円

ROE
5%
以上

2022/3期

親会社株主に帰属する
当期純利益

10億円



ROE
8%
以上

5~6年後

本資料に記載されている将来に関する見通しは、不確定なリスク要因を含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ご了承ください。

盟和産業株式会社

